

# 6月1日からスタート がん検診推進事業の実施

町では今年度、がん検診の受診率の向上と、がんの早期発見・早期治療を図るため、特定年齢の人に対して「子宮頸がん」「乳がん」「大腸がん」の検診費用を無料とします。この機会にぜひ、あなたの健康のために、がん検診をお受けください。

健康福祉課健康係 ☎028(677)6042

## 特定年齢の人を対象に 子宮頸がん・乳がん・大腸がんの検診費用を無料に！

### 対象者

平成23年4月20日現在、芳賀町に住所がある人  
子宮・乳がん検診は女性のみ、大腸がん検診は男女とも

内容	年齢	生年月日
子宮頸がん検診	20歳	平成2年4月2日～平成3年4月1日
	25歳	昭和60年4月2日～昭和61年4月1日
	30歳	昭和55年4月2日～昭和56年4月1日
	35歳	昭和50年4月2日～昭和51年4月1日
	40歳	昭和45年4月2日～昭和46年4月1日

内容	年齢	生年月日
大腸がん検診	40歳	昭和45年4月2日～昭和46年4月1日
	45歳	昭和40年4月2日～昭和41年4月1日
	50歳	昭和35年4月2日～昭和36年4月1日
	55歳	昭和30年4月2日～昭和31年4月1日
	60歳	昭和25年4月2日～昭和26年4月1日

### 検診内容

- 子宮頸がん検診 問診、子宮頸部細胞診検査
- 乳がん検診 問診、視・触診検査、乳がんマンモグラフィ検査
- 大腸がん検診 問診、便の潜血検査

### 受診方法

町で実施する総合検診または指定の医療機関で受診できます。  
対象となる人には、5月中に通知を送付しました。  
詳しくは、そちらをご覧ください。

## 知っていますか？

日本では、およそ2人に1人が、がんになり、3人に1人が、がんで命を落としています。この割合は、世界でもトップレベルで、日本は世界有数の「がん大国」といえます。よく「がんになったと知るのが怖い」という人がいますが…  
がんは不治の病ではありません。がんにかかった人の約半数が治ると考えられます。早期がんなら、完治の可能性もぐっと高くなります。

## 受けなきゃソン！がん検診

がんは早期には症状がほとんどありません。自覚症状が出てからでは、がんがかなり進んでいることも…  
症状がなくても、検診を受けることで、早期に発見できる可能性が大きくなります。検診の中でも、とりわけ有効なのが「子宮頸がん」「乳がん」「大腸がん」「胃がん」「肺がん」の5つです。これらのうち3つを、今回特定年齢の人は、無料で受けられます。ぜひ、「がんで命を落とさないための特効薬」＝「がん検診」を、この機会に受けてください。

# 7月10日(日)予定 農業委員統一選挙

今年は、3年に1度の農業委員選挙の年です。選挙は、7月10日(日)に予定されています。

不明な点は ☎農業委員会事務局 ☎028(677)6047

選挙権・被選挙権・立候補の手続きは ☎選挙管理委員会事務局 ☎028(677)1111

## 今回の農業委員選挙

一昨年の農地法改正後の初めての選挙であり、これからの農業・農村にとって重要な意味をもっています。新たな「食料・農業・農村基本計画」が平成22年3月に閣議決定され、農業委員会が担うべき「優良農地の確保と有効利用」「意欲ある多様な農業者の育成・確保」「再生産可能な経営の確保」という農政上の重要な役割を果たすためにも、地域農業の再生に向けて自ら率先して行動する農業委員の選出が強く期待されています。

## 農業委員の仕事

**優良農地の確保と有効利用**  
農地の売買や貸借、転用などについて、農地法に基づく許認可業務などを行うとともに、遊休農地の発生防止、解消対策、無断転用防止などのための農地パトロールなど、優良農地の確保と有効利用に向けた取り組みを行っています。

## 農地の利用集積と担い手への支援

地域農業の構造改革に向けて、認定農業者などの担い手への農地利用集積や経営の確立に向けた支援活動を展開するとともに、農業および農業者に関する情報提供活動を行っています。

## 地域の世話役的活動と農業者の公的代表としての農政活動

農業委員一人ひとりが、税金・制度資金・農業者年金などの農家の経営や生活に関する相談に対して、きめ細やかな世話役的活動を行うとともに、農業者の意見や要望をくみ取り、農政に反映するため、農業委員会として建議、要望などを行っています。

## 行動力ある人材を！

町農業委員会の上部団体である全国農業会議所では、女性・青年農業者・認定農業者などの多様な人材の選出に向けた環境づくりを、組織一丸となって積極的に推進するための申し合わせ決議を行いました。

## 申し合わせ事項

- ① 農業委員会組織の役割と取り組み、農業委員選挙の意義などについて、関係機関・団体をはじめ、農業者や住民へ幅広く普及浸透を図ること。
- ② 女性・青年農業者・認定農業者などの立候補を促す環境づくりに努めるとともに、選任委員については、意欲と情熱を持って地域農業の振興に取り組み、多様な行動力のある人材の登用が図られるよう、関係方面への働きかけを行うこと。
- ③ 特に、女性農業委員については、1農業委員会当たり複数の選出を目指すとともに、認定農業者の農業委員についても全体の3割の選出を目標とすること。
- ④ 農業委員定数の見直しについては、地域の実情や条件などを十分に考慮し、適正な確保に努めること。

## 農業委員会委員選挙 立候補予定者説明会

- 日時 / 6月21日(火)9:00
- 場所 / 役場2階大会議室
- 芳賀町の農業委員数  
選挙委員  
祖母井……………5人  
南高根沢……………5人  
水橋……………5人

- 選任(推薦)委員  
町議会……………4人以内  
農業協同組合……………1人  
農業共済組合……………1人  
土地改良区……………1人